

## 福泉寺所蔵鈴木岩次郎家文書

三浦市南下浦町松輪

当文書は、江戸時代後期に魚仲買商人として、近代に至っては昭和10年代において南下浦町役場の収入役を務めた鈴木岩次郎家に伝来した文書である。近年、家の改築とともに散逸の危機に遭ったところを当家近くの福泉寺住職鈴木元奘師が、地域の歴史を知る大切な史料が無くなることを心配されて収集したという経緯をもつものである。鈴木元奘師は、この文書を後世の子孫に遺すことや研究等に活用提供するために三浦市教育委員会と横須賀市人文博物館とに相談された。その結果、横須賀市人文博物館において整理し仮目録作成することとなった。整理は、平成2年12月から同3年3月にかけて行われ、手書き仮目録ができた。当公文書館では、平成7年度から三浦市々内を重点的に古文書資料の悉皆調査を開始しており、鈴木岩次郎家文書は、8年度に実施した三浦市教育委員会文化財収蔵庫文書の関連文書を追跡調査する中で、その多くが福泉寺に所蔵されていることを知った。そこで、当館としては、現所蔵者の指導のもとに酸性紙から中性紙への保存袋の入れ替え、マイクロフィルム撮影の実施、撮影した資料はそのフィルムを県立公文書館内で利用に供する、同種の資料が幾つかの箱に分納された状態で仮目録が作成されていることから当館独自に目録を作成しこれを刊行する（当資料の整理にあたった横須賀市人文博物館の安池尋幸氏は、仮目録の解説の中で分類の必要を指摘している。）、仮目録からも資料の検索が出来るようにすること、以上の要件をふまえて平成9年1月から同10年2月に至る2か年度に渡って実施した。仮目録では全タイトル数が1030件と把握されているが、当館調査では1211タイトル（件）、2992点とした。総点数は、仕切状など一部「綴1」とした資料もあるため実際のところ3500点前後に達するものであろう。

なお、福泉寺所蔵鈴木岩次郎家文書を利用した研究に安池尋幸氏の「相州三浦郡松輪村における肴仲買人に関する史料の紹介」（1991年、横須賀市博物館研究報告（人文）36号）がある。

## 福泉寺所蔵文書

三浦市南下浦町松輪

福泉寺住職に関する資料である。

このほか、御住職鈴木元奘師が収集された錦絵や単行本図書がある。

## 三浦市教育委員会文化財収蔵庫文書

三浦市城山町

三浦市教育委員会が所蔵・保管する古文書・資料は、『神奈川県古文書資料所在目録―第18集―』に収録した故浜田勘太氏収集「浜田文庫」と杉山隆一郎氏寄贈文書の二群のほかに「文化財収蔵庫文書」として管理する家別文書がある。この家別文書は、『目でみる三浦市史』（昭和49年3月、三浦市発行）に写真掲載された文書も一部含まれており、同市史編集にあたって調査収集された資料群である。昭和47年、当教育委員会に「文化財収蔵庫文書」として受け入れられている。

金崎家文書：金崎 衛氏（初声町高円坊）旧蔵文書。11点。

金崎家は、旧高円坊名主。当家には、明治3年の太政官高札が2枚現存している。1枚は、太政官第991号（12月24日付、『法令全書第3巻』711頁）「火付盗賊人殺或ハ贖金札ヲ作り候者」の書き出しで始まる市中掲示。もう1枚は、太政官第1011号（12月26日付、『法令全書第3巻』716頁）「諸國高札ニ掲示有之候通」の書き出しで始まる太政官達である。同文高札の現物が、当公文書館所蔵「北村家文書」にある。旧名主時代の古文書は、大正の関東大震災による土蔵倒壊により処分してしまわれた由。

河田家文書：河田邦博氏（初声町和田）旧蔵文書。37点。

河田家は、明治初年に和田村、入江新田村の戸長を務めた河田周蔵家であり『神奈川県史資料所在目録―第三集―』には河田敏雄氏の名で所蔵資料目録が収録されている。

川名家文書：川名利雄氏（初声町高円坊）旧蔵文書。13点。

川名家は、旧高円坊名主、戸長を務めた平右衛門家であるが、現在当家には古文書等の記録類は一切存在しない。

小牧家文書：小牧房子氏（東岡町）旧蔵文書。53点。

小牧家は、伊勢屋清七の屋号で江戸時代以来現在でも商家を営んでいる。関連文書が当家に現存する。本冊に小牧房子氏蔵文書として収録した。

小嶺家文書：小嶺氏（諸磯）旧蔵文書。77点。

明治期、諸磯村の村用掛・戸長を務めた小嶺兵左衛門家の文書であるが役職にあった関係から戸長役場関連文書を含む。戸長当時の文書は、村に引き継がれ、「諸磯区有文書」として歴代区長が管理してい

る。諸磯区有文書は、本冊に収録。

城ヶ島古文書：旧蔵者、伝来先は不明である。5点

城ヶ島は火災に遭っている関係から、江戸時代の城ヶ島村文書は残存しないと予備調査で取材した時の島内複数人の意見であった。また、城ヶ島村の名主、戸長であった加藤泰次郎氏の家（子孫、加藤忠嗣氏）を当館員藤井一夫氏と共に訪問し、所蔵資料を調査したが、村文書は皆無であった。したがって、この古文書は、石渡文世氏所蔵（二町谷村名主文書）文書に含む文久3年の細川領城ヶ島村年貢皆済目録一通とともに、数少ない城ヶ島村文書である。

鈴木岩次郎家文書：鈴木岩次郎家（南下浦町松輪）旧蔵文書。2点

福泉寺所蔵鈴木岩次郎家文書の一部である。

鈴木家文書（善重）：5点

明治30年代、南下浦村の村長を務めた鈴木善重氏の文書。鈴木家は、現在の南下浦町上宮田に住した。

鈴木家文書（ヤエ）：鈴木ヤエ氏（城山町）旧蔵文書。13点

高梨家文書：高梨太左衛門（初声町下宮田）旧蔵文書。31点

主に明治期の小学校関係資料。

出口家文書：旧蔵者は不明。16点

笹本ムメ氏宛の賞状。

根岸家文書：根岸三蔵氏（初声町高円坊）旧蔵文書。1点

『神奈川県史資料所在目録－第三集－』に収録。1967年7月10日付の浜田勘太氏調査メモがある。根岸家では、三崎の親戚から貰った文書との由。（内容、三崎町の御用留）

藤平家文書：藤平正一氏（南下浦町松輪）旧蔵文書。27点

現在、藤平正一氏が所蔵する藤平家文書の一部である。藤平家文書は、旧県立文化資料館が借り上げて調査整理して当家に返却した。整理目録は、『神奈川県古文書資料所在目録 第13集』（平成3年3月刊行）に全点収録した。総数2406タイトル、3109点。

星野家文書：星野栄之助氏（三崎町）旧蔵文書。73点

天保元年から明治初年にいたる証文がほとんどである。

山下家文書：山下雄三郎氏旧蔵文書。9点

山下氏の所在地は不明。

家不詳文書：旧蔵者、伝来先不明の資料をまとめた。5点

以上、文化財収蔵庫文書については、三浦市教育委員会文化財係長の飯島重一氏と共に子孫にあたる家を追跡調査し、その結果を基にしてまとめた。

## 円照寺文書

三浦市三崎

円照寺が所蔵する文書は、昭和42年に神奈川県史編集室で調査し目録を作成していたが、今回は当時調査された文書の確認と酸性紙から中性紙への保存袋の入替え、調査から洩れた文書・資料の調査・目録作成、マイクロフィルム撮影の実施、御住職稲垣英夫氏が収集された文書の調査を目的に実施した。円照寺文書は、神奈川県史編集室調査の29点に新資料61点を加えて編集した。総数90点

## 稲垣英夫氏収集文書

三浦市三崎

稲垣氏が、弘文荘反町茂雄氏から購入した「古今和歌集」をはじめ、豊臣秀吉朱印状、「平家物語」第四巻、第五巻がある。「古今和歌集」は、奥書に「以平常縁自筆本不違／一字書寫了／中大夫平朝臣義同（花押）」とある。戦国期の武将で岡崎城（平塚市・伊勢原市）や新井城（三浦市）を居城とした三浦義同（入道道寸、1451～1516）が自筆書写した「古今和歌集」と伝えられている。4点収録した。

## 小牧房子氏所蔵文書

三浦市東岡町

三浦市教育委員会文化財収蔵庫文書の小牧家文書と一体を成す文書である。25件収録した。

## 諸磯区有文書

三浦市三崎町諸磯

明治期、諸磯村の村用掛・戸長を務めた小嶺家から区に引き継がれた文書と歴代諸磯区長から引き渡された文書で構成されている。文書は、現在、市立諸磯青少年セン

ター（諸磯1870-1）内に保管されている。昭和42年に実施した神奈川県史編集室調査の追加資料確認調査と酸性紙から中性紙への保存袋の入替えを行った。この調査では、元区長青木忠良氏の御協力をいただいた。245件の目録を作成した。

## 岩崎克夫氏所蔵文書

横浜市瀬谷区竹村町

所蔵文書は、相模国鎌倉郡瀬谷村の名主文書である。かつて、神奈川県史編集室や横浜市で調査した目録があるが（『神奈川県史資料所在目録－第四十四集－』昭和51年1月発行、『横浜市史料所在目録－第五集－瀬谷区』昭和55年3月発行）、寄託にあたって再調査・整理した結果、一部は市立瀬谷図書館に展示されてあるものの目録上8件の文書が散逸してしまっていた。他方、断簡として一括処理された文書の中から、史料として整理し直して独立させた文書もある。総数681点。散逸した文書は、1. 相州鎌倉郡瀬谷村縄打帳・相州鎌倉郡瀬谷畑方縄打帳（3冊） 2. 金銀御改御触数通書留（1冊） 3. 秣場出入惣百姓連判帳（1冊） 4. 安永3年4月相模国鎌倉郡瀬谷村宗門御改帳（1冊） 5. 売穀物無之村々取調帳（1冊） 6. 嘉永2年4月諸宗門百姓人別改帳（1冊） 7. 天保3年2月為取申一札之事（1通） 8. 文久元年6月〔中原往還伝馬賃稼不法出入願書〕（1通）であるが、この内、正保4年（1647）の当家文書中最も古い「相州鎌倉郡瀬谷村縄打帳・相州鎌倉郡瀬谷畑方縄打帳」（3冊）は、瀬谷図書館に展示されている。また、当公文書館には神奈川県史編集のため収集した史料の写真帳があり「岩崎 肇氏所蔵資料」（写真帳10冊）として、散逸の1、3、4、5、8の文書が収集されている。

岩崎家は、江戸時代の初期から幕末にいたるまで、ほぼ代々にわたって上瀬谷村の名主を務めてきた。先代の岩崎 肇氏がまとめた著書によると、祖先は清和源氏甲斐武田氏の支流岩崎氏で、室町時代の天文9年（1540）頃岩崎丹後なる人物が瀬谷の地に土着したとある。歴代、甚五右衛門や宅右衛門を襲名しており、肇氏は丹後から数えて二十一代目に当たるという。寄託された古文書の中から当家の主を拾いだして見ると、最も古い名は、寛文5年（1665）の名寄帳に見える長左衛門である。長左衛門の名は、当家の墓誌ではみられないが、元禄13年（甚五右衛門代）、延享3年（長左衛門代）、明和8年（宅右衛門代）の土地所有から推測すると同一の家に考えられる。系図上においてみると

(永禄4年没) (天正8年) (慶長9年) (寛永2年) (寛永13年) (寛文5年)  
 \* 岩崎丹後……………外記……………宅右衛門……………宅右衛門……………甚五右衛門……………長左衛門……………  
 (1561) (1580) (1604) (1625) (1636) (1665)

(元禄12年) (享保1年) (宝暦4年) (寛政1年) (文化9年) (弘化4年)  
 甚五右衛門 長左衛門——宅右衛門——長左衛門——宅右衛門——甚五右衛門——  
 (1699) (1716) (1754) (1789) (1812) (1847)

——平——吉蔵——茂平——肇——克夫(当代)

となる。

註、点線で繋いである人は『瀬谷区の歴史』から引用した。実線で繋いである人は、寄託中の岩崎家文書の中から抽出して作成した。( )内の年は、残存文書上で人名が替わったとき、最初の文書にその名が見える年を記入した。

(以上、収録文書所蔵者別解説は田島光男が執筆した。)

# 神奈川県古文書資料所在目録

## 第20集

編集 神奈川県立公文書館

発行 神奈川県立公文書館

館長 後藤 仁

〒241-0815 横浜市旭区中尾1-6-1

☎ (045) 364-4456

FAX (045) 364-4459

発行日 平成10年3月31日

印刷所 株式会社 野毛印刷社

〒231-0012 横浜市中区相生町5-79

☎ (045) 252-2511

FAX (045) 252-8826

